

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月4日 (2019.4.4)

【公開番号】特開2019-10521(P2019-10521A)

【公開日】平成31年1月24日 (2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-003

【出願番号】特願2018-154263(P2018-154263)

【国際特許分類】

A 4 5 D 44/18 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 44/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月19日 (2019.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

歯ブラシおよび歯磨きチューブが収容された収容状態、および、前記歯ブラシおよび前記歯磨きチューブの出し入れが可能な開放状態を取り得るトラベルケースであって、

前記歯ブラシおよび前記歯磨きチューブを積み重ねた積層状態で配置できるように構成された第 1 ケース部と、

前記第 1 ケース部との組み合わせにより前記収容状態を形成できるように構成された第 2 ケース部と、

前記収容状態かつ前記積層状態において前記第 1 ケース部および前記第 2 ケース部が前記歯磨きチューブの肩および尻の少なくとも一方に接触することにより前記歯磨きチューブを挟み込みように構成された保持構造とを含む

トラベルケース。

【請求項 2】

前記保持構造は前記第 1 ケース部および前記第 2 ケース部のそれぞれと前記歯磨きチューブとの接触面に生じる摩擦力により前記トラベルケース内における前記歯磨きチューブの位置が安定するように構成される

請求項 1 に記載のトラベルケース。

【請求項 3】

前記保持構造では前記摩擦力が生じるように前記第 1 ケース部の材質、前記第 2 ケース部の材質、前記第 1 ケース部における前記歯磨きチューブとの接触部分の曲率半径、および、前記第 2 ケース部における前記歯磨きチューブとの接触部分の曲率半径の少なくとも 1 つが決められる

請求項 2 に記載のトラベルケース。

【請求項 4】

前記第 1 ケース部は前記第 1 ケース部の主要な部分を構成する第 1 主壁を含み、

前記第 2 ケース部は前記第 2 ケース部の主要な部分を構成する第 2 主壁を含み、

前記第 1 主壁および前記第 2 主壁は前記トラベルケースの厚さ方向において間隔を空けて対向することにより前記歯ブラシおよび前記歯磨きチューブを収容する収容空間を形成できるように構成され、

前記保持構造を構成する要素は少なくとも前記第 1 主壁および前記第 2 主壁を含む

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のトラベルケース。

【請求項 5】

前記収容状態において前記トラベルケースの長手方向における前記歯磨きチューブの移動を規制できるように構成された長手規制部をさらに備える

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のトラベルケース。

【請求項 6】

前記長手規制部は前記第 1 主壁および前記第 2 主壁の少なくとも一方に設けられている

請求項 4を引用する請求項 5に記載のトラベルケース。

【請求項 7】

前記第 1 主壁および前記第 2 主壁は前記トラベルケースの短手方向においてそれぞれの外周部から中間部に向かうにつれて前記収容空間側とは反対側に突き出るように湾曲している

請求項 4を引用する請求項 5 または 6に記載のトラベルケース。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の前記トラベルケースと、

前記トラベルケースに収容された前記歯ブラシおよび前記歯磨きチューブとを備えるトラベルケースセット。